記者発表資料

平成29年2月21日
国土交通省
三陸国道事務所

【宮古盛岡横断道路（宮古箱石道路）】

箱石地区住民（約50名）が地元で建設中の宮古箱石道路の工事進捗状況について見学します

～　宮古箱石道路　箱石地区道路工事現場見学会　～

宮古箱石道路（復興支援道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして１日も早い完成を目指し、従来にないスピードで事業を進めているところです。
このたび、箱石地区の住民約50名による現場見学会を、下記の日程で開催することとしますのでお知らせいたします。
今回の見学会は、台風１０号の被災により国道１０６号の重要性が再認識され、宮古盛岡横断道路の進捗状況について住民の皆様の関心も高まったことと、（仮）新箱石トンネルの掘削も中間点をむかえたタイミングと言うことで、宮古箱石道路の整備状況の報告と整備効果について学ぶ現場見学会を開催することとなりました。

■　開催日時　：　平成２９年　２月２５日(土）10：00から（１時間半程度）
■　集合場所　：　宮古市箱石地内･･･別紙－１（位置図）参照
■　見学場所　：　（仮称）新箱石トンネル
■　実施内容　：　別紙－４（現場見学スケジュール）参照
■　その他　：　現場に入場する際のヘルメットは、当方で準備いたしますので、必要個数をご連絡ください。
雨天の場合も開催します。
※　記者のみなさまの見学会参加も可能です。

«発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会»

問い合わせ先

【見学会の内容に関する問い合わせ】
○国道１０６号　箱石地区道路工事
株式会社 安藤・間　新箱石トンネル作業所
〒028-2304　宮古市箱石第4地割27
所　長　佐々木　照夫　電話0193-85-1525

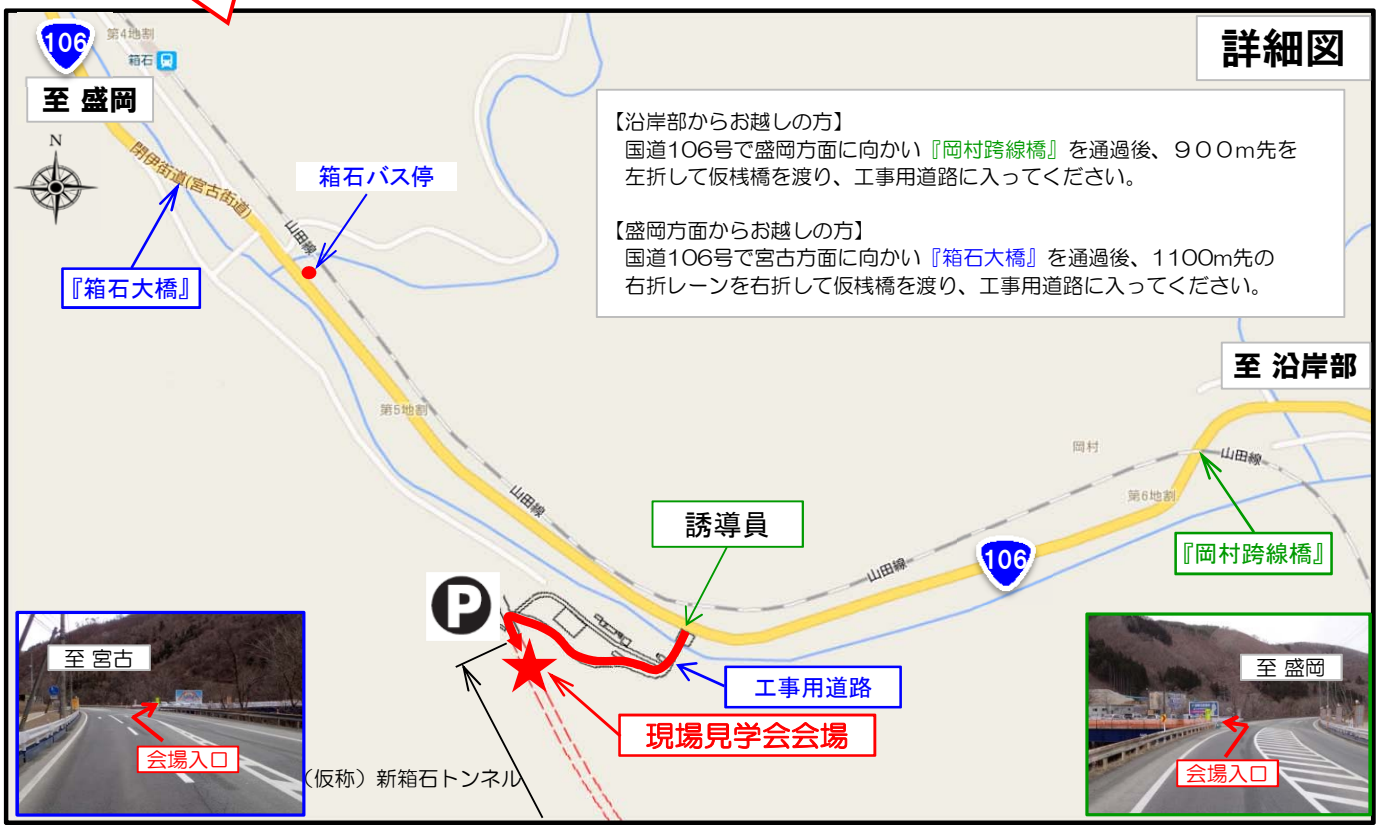
【事業に関する問い合わせ】
○国土交通省　東北地方整備局　三陸国道事務所
副所長　平岡　弘志　（内線204）　電話0193-62-1711（代表）
工務第一課　建設監督官　庄司　彰　（内線504）

（復興支援道路・宮古盛岡横断道路については、三陸国道　で検索できます。）

別紙－1

【国道106号 箱石地区道路工事　現場見学会　会場案内図】





国道106号 箱石地区道路工事
安藤ハザマ　新箱石トンネル作業所
〒028-2304　岩手県宮古市箱石第4地割27
TEL:0193-85-1525　FAX:0193-74-2535

別紙－2

宮古箱石道路（宮古～箱石）Ｌ＝３３ｋｍ

路線概要

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ全長約100kmの地域高規格道路であり、そのうち「宮古箱石道路(宮古～箱石)」は宮古市藤原から箱石間の約33kmにおいて、岩手県より権限代行で整備する区間です。

国道106号の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により県都盛岡市と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

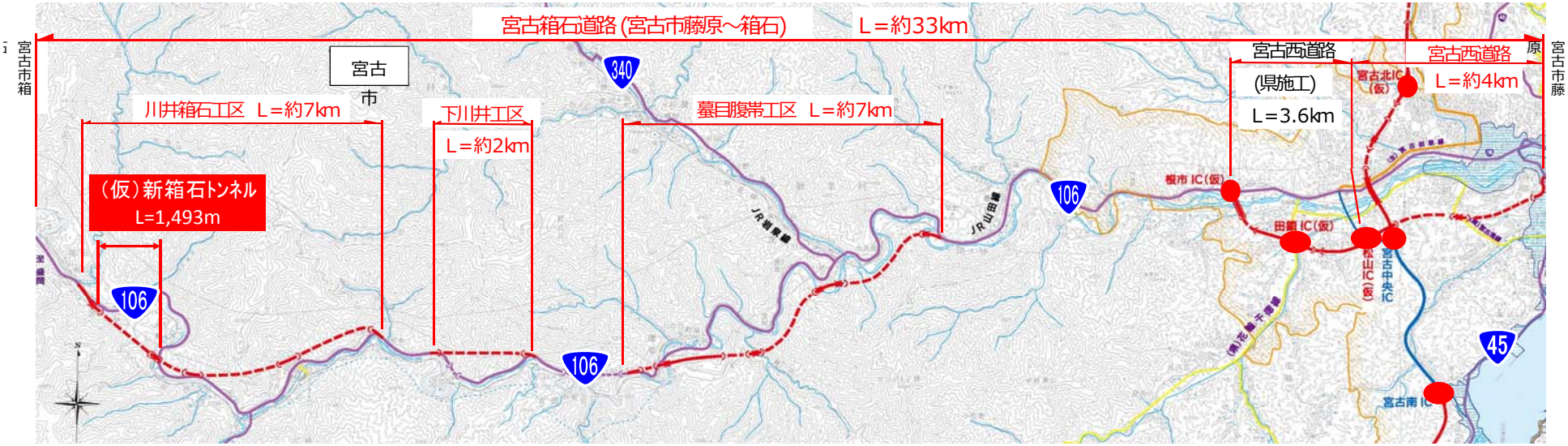
平成２８年度は、昨年度に引き続き、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を進めて行きます。

計画諸元

	宮古箱石道路(宮古～箱石)	
起　点	宮古市藤原	
終　点	宮古市箱石	
延　長	33km	
工　区	(宮古西道路)※国施工分	(茂市腹帯工区、下川井工区、川井箱石工区)
幅　員	２車線 13.5m	２車線 12.0m
構造規格	第１種第３級	第３種第２級
設計速度	80km/h	60km/h



久慈方面から松山IC(仮)付近を望む



別紙－3

国道106号　箱石地区道路工事

復興支援道路　宮古盛岡横断道路

安藤ハザマ

【工事概要】
工事件名：国道106号 箱石地区道路工事
工事場所：岩手県宮古市川井～宮古市箱石 地内
工　　期：平成26年12月17日～平成30年2月28日
発 注 者 ：国土交通省 東北地方整備局
受 注 者 ：株式会社 安藤･間
　宮古箱石道路は、宮古市から盛岡市までの地域高規格道路（国道106号）で、東日本大震災を機に「復興支援道路」と位置付けられ、沿岸と内陸との強力な連携を促進することにより、被災地の早期復興を支援することを目的として整備されています。
【工事内容】
（仮称）新箱石トンネル　延長　1,493m（内空断面　約88㎡）
（仮称）上片巣橋　橋台　1基（A1）、橋脚　2基（P1、P2）、仮桟橋　2基







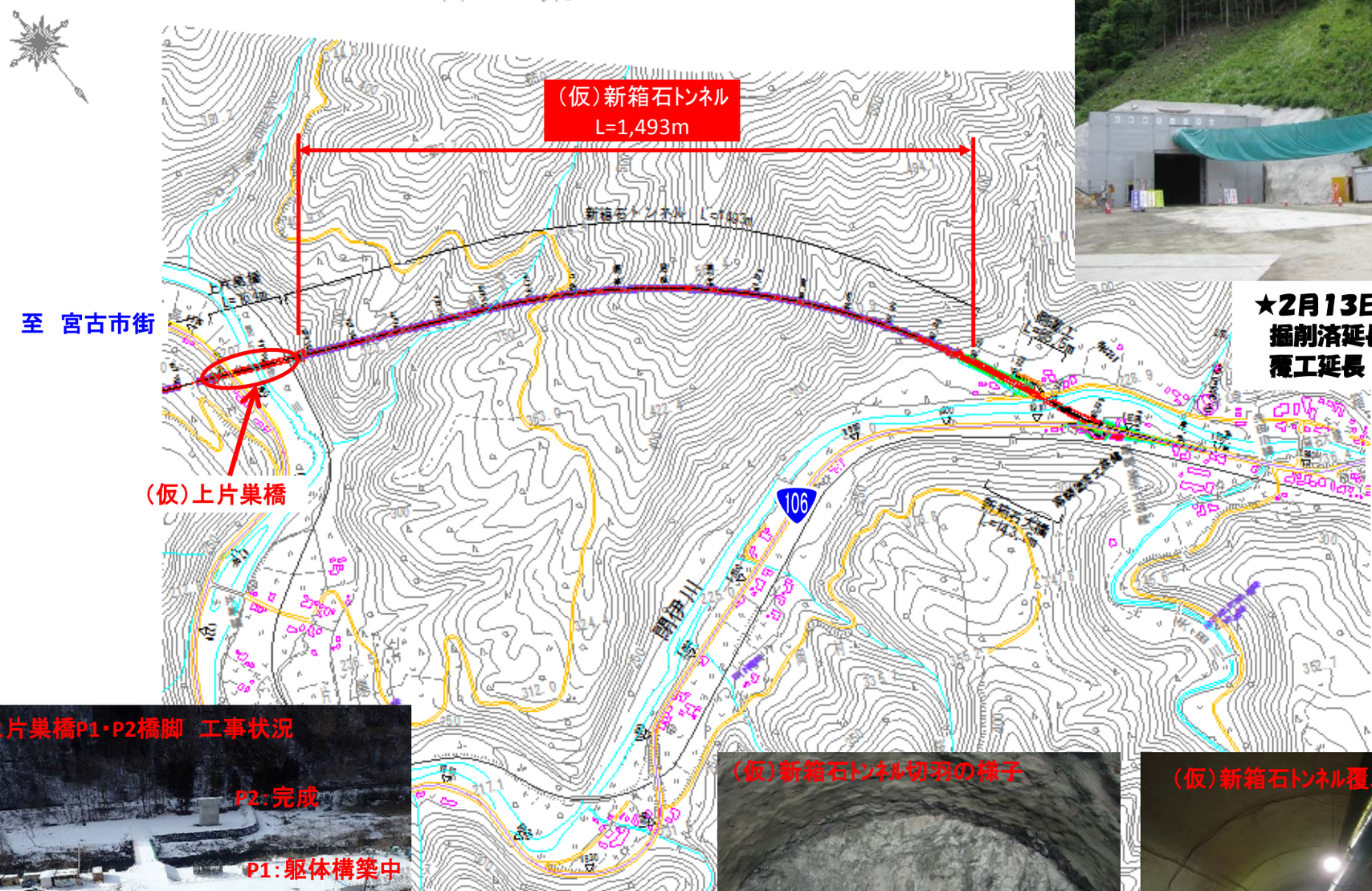
別紙－4

宮古盛岡横断道路　箱石地区道路工事
現場見学会　スケジュール

開始時間	内　　容	所要時間	説明者
10:00	終点側（盛岡側）坑口　集合		
10:00 ～	ご挨拶 復興支援道路（宮古盛岡横断道路）事業概要説明	（10分）	庄司建設監督官（三陸国道）
10:10 ～	工事概要説明・見学時の注意事項	（5分）	飯田監理技術者（安藤・間）
10:15 ～	バスにて移動　（坑口　⇒　切羽）		
10:20 ～	ドリルジャンボによる削孔状況デモンストレーション	（5分）	
10:25 ～	徒歩にて移動（坑内を見学しながら約400m）	（15分）	
10:40 ～	防水シートに記念のサイン	（10分）	
10:50 ～	徒歩にて移動（坑内を見学しながら約350m）	（15分）	
11:05 ～	トンネル施工状況DVD上映（坑口部）	（10分）	
11:15 ～	**発破！！**		
11:20 ～	バスにて移動　（坑口　⇒　切羽）	（5分）	
11:25 ～	切羽にてズリ積込・大型ブレーカーによる岩破砕 作業見学	（10分）	
11:35 ～	切羽にて記念撮影	（10分）	
11:45 ～	見学会終了（現場出発）		

別紙－５

箱石地区道路工事　工事進捗状況





★2月13日現在の進捗★
掘削済延長　L=720.9m
覆工延長　　L=240.2m





災害時における緊急輸送路の確保

■東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
■宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路



▼津波により寸断された国道

写真①　宮古市愛宕交差点



写真②　宮古市磯鶏地区

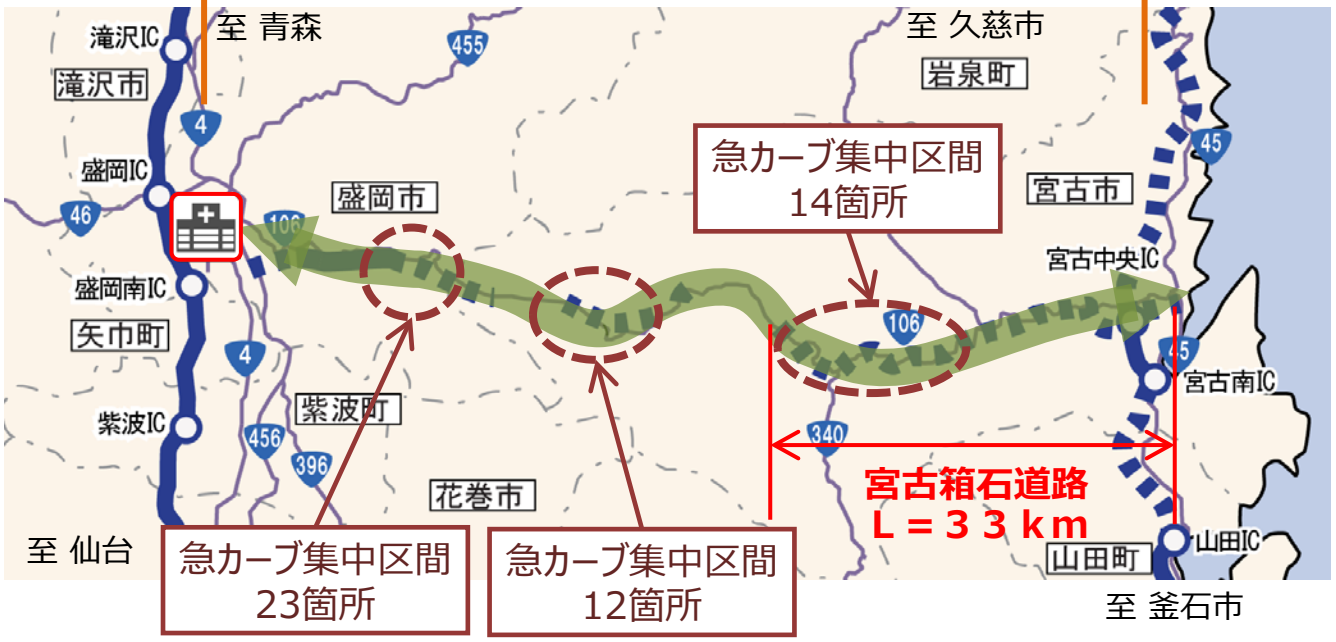


迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

■宮古市内国道106号沿線地域の管外搬送は、全て盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
■宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼国道106号は線形不良個所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去１０年間）
回　　数：　　２２回
合計時間：１１１時間　資料：岩手県（H17-H26）



宮古～箱石区間の国道106号

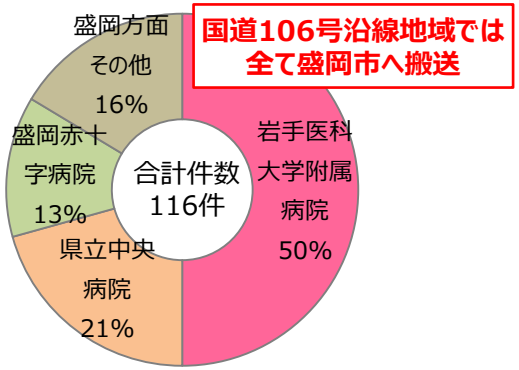
急カーブ箇所
（R<150m）
14箇所

▷

宮古箱石道路

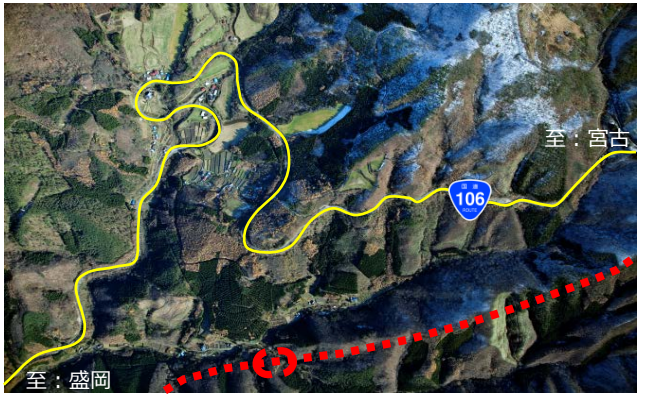
急カーブ箇所
（R<150m）
0箇所

▼宮古市内国道106号沿線地域の
宮古地区外への搬送状況（H26）



※国道106号沿線地域
宮古消防署・新里分署・川井分署
資料：宮古地区広域行政組合
消防本部搬送実績

▼　区界地区の急カーブ状況



新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

■三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
■宮古盛岡横断道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平
（八幡平市入込客数
：201万人/年）



遠野盆地
（遠野市入込客数
：162万人/年）



展勝地
（北上市入込客数
：125万人/年）

世界遺産 平泉
（平泉町入込客数200万人/年）







※資料：岩手県観光統計（平成26年）

三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



船越半島大釜崎（山田町）



碁石海岸（大船渡市）



三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



北山崎(田野畑村)



龍泉洞（岩泉町）

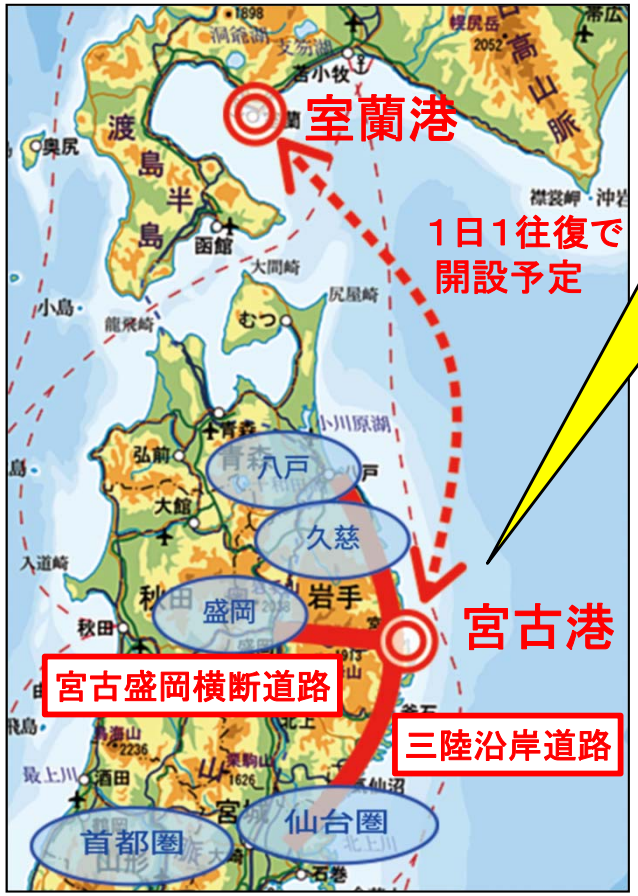


フェリー就航で北海道との広域交流が活性化

○宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設（岩手県初の運航）。
○三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。
○北海道と東北、首都圏間の交流・物流を活発化させ、東北の復興の加速化に寄与。

■復興道路・復興支援道路の整備とフェリー航路

▼フェリー航路図



▼宮古港周辺の道路整備状況



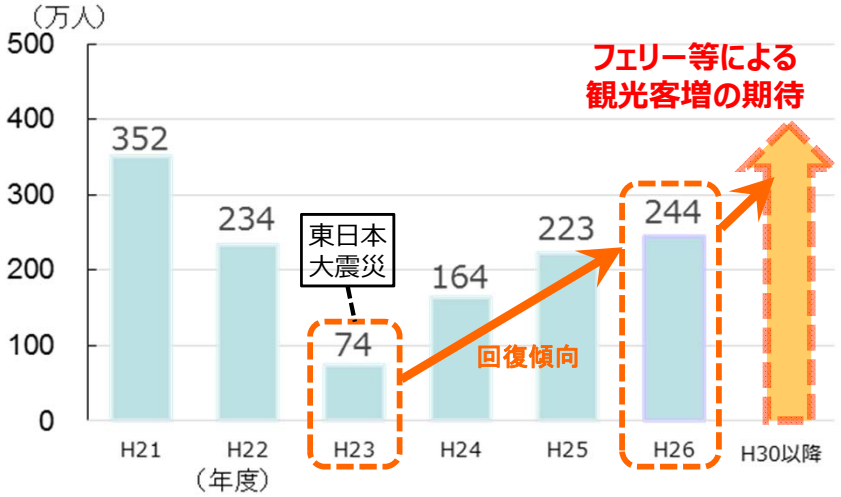
▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港



▼航路概要
（川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋）

- ●開設時期　平成３０年６月（予定）
- ●運行計画　１日１往復、毎日運行
- ●選定理由
  - ①急ピッチで進められている復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
  - ②トラックドライバーの休憩時間８時間を確保できる最適な航路
  - ③両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
  - ④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい。

▼観光入込客数の推移と期待
（※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村）



H21～26資料：岩手県観光統計